

## 第3回 第1章 現代の政治

### 第1節 民主政治の基本原則

# 現代の民主政治

講師  
藤井 剛

#### 学習のねらい

市民革命後、民主政治は定着してきました。しかし、大衆民主主義になると自分の一票で政治が変わるか不信感を持ったり、社会や経済が不安定になると国民がファシズムを選択してしまったりするなど課題も見えてきました。そのような歴史から私たちは何を学んでいくべきなのでしょう？ 私たち一人ひとりの政治参加の重要性を考えると同時に、世界の主な政治体制を学んでいきましょう。

調べておこう  
覚えておこう

大統領制／立法権／国民投票／直接民主制／内閣総理大臣（首相）／  
合意型民主主義／間接民主制／議会制民主主義／全国人民代表大会／  
行政権／大衆民主主義／男子普通選挙／全権委任法／議院内閣制

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 私の声は政治に届くの？

- 民主政治の形態には、有権者全員が一堂に集まって議論したり法律を制定したりする<sup>①</sup> \_\_\_\_\_ と、有権者が自分たちの代表者を選び、その代表者を通じて国家の意思を決める<sup>②</sup> \_\_\_\_\_ があります。後者は、<sup>③</sup> \_\_\_\_\_ とか「代議制」とも呼ばれています。
- 間接民主制において、私たち主権者の声を政治に届かせる方法として、憲法改正の際の<sup>④</sup> \_\_\_\_\_ のような直接民主制的規定があり、また選挙に行くことも重要です。
- 特に20歳代の若者の投票率は、2017年の衆議院議員総選挙\*では約34%と低く、政治家や立候補者は若者の方に目が行きません。この、20歳代に約40%の投票率をもつ18歳と19歳が合流して60歳代と同じように約72%が投票すると、1,000万票を超えますので、政治家や立候補者に若者の方へ目を向かせることが出来ます。ですから私たちの声を政治に届けるためにも投票に行く必要があります。 (\*：総務省「国政選挙の年代別投票率の推移について」より)

#### POINT 2

### 大衆民主主義の落とし穴

- 選挙権は、19世紀までは制限選挙が一般的でした。その後、例えば、先進5か国で比較すると、男性全員が選挙権を持つ<sup>⑤</sup> \_\_\_\_\_ は、1848年にフランスで始まりました。女性普通選挙が始まったのはドイツで1919年でした。このように国民すべて、つまり大衆が政治に参加する民主主義を<sup>⑥</sup> \_\_\_\_\_ と呼んでいます。

